

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。いよいよ夏本番。地球温暖化の影響で、年々暑くなっている気がします。雨の降り方もスコールのような土砂降りの回数が増えていきます。家庭でもできることから取り組んで、みんなで温暖化対策に努めたいですね。

洞爺湖サミットでは温暖化対策の方向感については共有できましたが、米国や中国がどれだけ真剣に取り組む気があるのか心配ですね。サミット直後には、帰国したブッシュ大統領がさっそく温暖化対策を法律によって定めることには反対と発言しました。

その一方、排出権取引には米国が急に前向きになっていきます。それは、二酸化炭素の「排出権」が、最近では株や債券のような金融商品と同じ

ようなものになっていくからです。ちよつと難しい話ですが、喩えて言えば、「入場券」を持っていないとナゴヤドームに入れないように、「排出権」を持っていないと工場で製品をつくれないうというルールが広がりつつあるからです。ちなみに、ヨーロッパでは「排出許可証」という名前で売買されており、通貨(ドル、ユーロ、円)と同じような役割も果たし始めています。

ヨーロッパではロンドンが排出権取引の中心。現在準備中のものも含めると七つの排出権取引所を擁します。米国も七つ。アジアは五つ。慌てた日本は、今年の通常国会で金融商品取引法という法律を改正。銀行や証券会社がやっとな「排出権」を売買できるようになりました。でも、欧米やアジア(中国、シンガポール)に比べると対応が遅れました。

国民の皆さんの生活に直接しないような話に思えますが、要するに、他の国に比べて新しい金融証券市場の整備が遅

れてしまったということですから、こうした対応の遅れは、経済力の差につながり、結果的に国民の皆さんの生活にも影響します。

医療、介護、年金など、生活に直結する社会保障制度の崩壊、改革の遅れを何とかしなくてはなりません。排出権取引のような経済対策、温暖化対策も急務。高騰を続ける原油対策も待ったなし。八月末から始まる予定の臨時国会でしっかり議論します。

そして、これらの課題に対して、福田さん、小沢さんがどのような姿勢で臨むのか。そういうことを明らかにしたマニフェストをお示しし、一年以内に総選挙が行われることとなります。

国の進むべき方向を決めるのは国民の皆さんご自身です。日本の未来にとって非常に重要な次の総選挙。適切な判断材料を提供できるように、参議院で有意義な議論に努めます。



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷 覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ7年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

弘法さんかわら版
配り手ボランティア

募集

弘法さん
かわら版

since 2002

毎月21日
午前9時~11時
覚王山日泰寺参道で
お待ちしております!!

連絡先: 052 757 1955 黒田/佐久間

フクダさん、地球温暖化対策も待ったなし!
国民の暮らしの寒冷化対策も待ったなしですよ!

